

しあわせ福祉

社会福祉法人 池田町社会福祉協議会
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1628-2
池田町福祉センター内
☎45・8123 ☑45・9604
E-メール:syakyou@town.ikeda.gifu.jp
ホームページ:http://www.gifu-ikeda-syakyojp

2025
1
vol.210

この「しあわせ福祉」は赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

11/17(日)
健康・福祉・エコフェア
いけだ



池田町マスコットキャラクター
「ちやちやまる」

11/17日(日)、池田町役場と共催で、「令和6年度 健康・福祉・エコフェアいけだ」を開催しました！
5年ぶりの実施となり、久しぶりの開催でしたが、多くの皆さんにお越しいただき、無事に終えることができました。
ご来場いただいた皆さん、開催にあたりご協力いただいた皆さん、誠にありがとうございました！

詳細21・22ページ

しあわせ
相談センター
1月・2月
相談開設日

- * 障がい者相談 1月14日(火)
- * 結婚相談 1月12日(日)・1月27日(月)
2月9日(日)
- * 生活相談 1月21日(火)・2月18日(火) ※予約制(前日まで)
- * 法律相談 2月25日(火) ※予約制(前日まで)・利用料1,000円

場所 福祉センター 相談室
時間 午後1時～4時
問い合わせ・申し込み
池田町社会福祉協議会
☎45・8123



新しい年を迎えて

社会福祉法人 池田町社会福祉協議会
会長 坪井 一雄

新年明けましておめでとうございます。会員の皆さんにおかれましては輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。日頃より、本会の発展並びに地域福祉の推進のために格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当町におきましては、平成22年の人口をピークとして、令和に入り急激な人口減少が進んでいます。また、少子・高齢化・核家族化も急速に進み、家族機能の低下や子育ての不安など、地域社会を取り巻く環境が大きく変化しています。本会では地域福祉の推進を図ることを目的として、地域住民、ボランティアの皆さんにご参加いただき、公共性の高い組織として活動しております。

昨年度は能登半島地震において甚大な被害が発生し、本会からも応援職員を派遣させていただきました。当町における災害時の支援体制を検証し、大規模災害発生に備えて体制強化を図りたいと思っております。地域ではいきいきサロンが再開され、7月6日には支え合い☆助け合いフォーラムまるっといけだを開催しました。テーマを『活躍する・ずっとつながる～私たちの時代～』と題し、シルバー人材センター会員の皆さんがいきいきと活動する様子やさくらマラソンへの参加を通して認知症について普及啓発活動をおこなう様子などを取材しました。また、食事サービス事業、介護予防教室などの各教室などの事業が通常通りの形で再開され、多くの皆さんにお世話になっております。

本年度は、第4次池田町地域福祉計画および第5次池田町地域福祉活動計画の二年目であります。「つながり合い、お互いに幸福を分けあい、受け取れるまち」を実現するため、前計画から実施してきた安心見守りネットワーク推進事業による高齢者、障がい者世帯などへの訪問相談を、引き続き地域福祉活動の中核事業に据え、町域全体のつながりをもった地域福祉ネットワークが自粛期間前よりも一層強固になるよう再構築を図るための実践的な政策をさらに推進してまいります。

本会主催・町と共催のイベント事業であります「福祉運動会」、「ふれ愛の家げんき祭」、「健康・福祉・エコ フェアいけだ」はコロナ禍前とほぼ同様に開催することができ、天候にも恵まれ多くの皆さんにご来場いただきました。

介護保険事業、障害者総合支援事業、病児・病後児保育事業では、引き続き感染症対策に配慮しながら事業を継続して参ります。

本年も会員の皆さんのご支援とご協力を心からお願い申し上げますとともに、皆さんのご健康とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

第72回岐阜県社会福祉大会が 開催されました

10月31日(木)、長良川国
際会議場におきまして、第
72回岐阜県社会福祉大会が
開催されました。

多年にわたり福祉活動に
ご尽力された方々や団体お
よび岐阜県共同募金会に貢
献されました方々が表彰を
授与されました。

表彰式後の記念講演では
「ほげますから、よろしく
お願いします。」と気軽に言い合える地域社会を
めざして」と題して映画監督の信友直子氏の講演
があり、池田町からは社会福祉協議会理事・被表
彰者など14名で参加しました。
池田町で表彰された方々および団体は次のとお
りです。

おめでとうございます。(敬称略・順不同)

岐阜県社会福祉協議会会長感謝

●社会福祉事業協力援助者(3名)

杉原 輝彦
野原 義己
棚川 早苗

岐阜県共同募金会会長表彰

●優良役員(2名)

今西 儀勝
河瀬 治男

岐阜県共同募金会会長感謝

●優良役員(2名)

久保田 芳徳
寺戸 敏彦

●優良支部・分会(1団体) 池田町分会



R6年度 健康・福祉・エコフェアいけだ

11/17日(日) 健康・福祉・エコフェアいけだに
多くの皆さんにご来場いただきありがとうございました!

「健康」「福祉」「エコ」の3つのコーナーを設け、様々な体験や展示、バザーなどに多くの皆さんにお立ち寄りいただき、たくさんの笑顔や色んな交流がみられとても賑やかで楽しい日となりました♪

本会は「福祉」コーナーを中心に、ボランティア団体の皆さんや関係団体によるバザーや体験ブース、展示コーナーを設けました。このイベントが少しでも福祉や健康、エコについて知る、触れるきっかけとなれば幸いです。



民生児童委員 ペンシルバルーンコーナー



体験コーナー

福祉体験



要約筆記体験 (さくらんぼ)



手話体験 (手話サークルいけの会)



牛乳パック 生け花 (かすみ草の会)

相談コーナー



認知症機能測定
(認知症地域支援推進員)



歯科検診・相談
(揖斐歯科医師会・岐阜県歯科衛生士会)

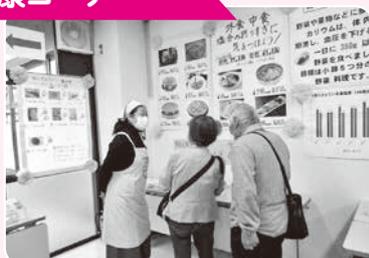


災害煙体験 (災害救援ネットワーク)



池田町マスコットキャラクター
「ちゃちゃまる」

健康コーナー



食生活と健康
(食生活改善協議会)



おてんきまつり
(母子保健推進連絡協議会)



フルーツ輪投げ・リース作り
(児童館)

展示コーナー

福祉作品(一行詩、ポスター、絵手紙)

小学生・中学生の皆さんからご応募いただいた一行詩586作品のうち54の入賞作品、園児さんのポスター、地域の皆さんからご応募いただいた絵手紙を展示いたしました。



福祉事業所様による展示



ボランティア団体・関係団体様によるふれあいバザー



ご協力ありがとうございました

もったいない掘り出し市

町民の皆さんから多くの品物をご提供いただきましてありがとうございました。当日は多くの来場者の皆さんにご購入いただき、**187,150円**の売り上げを得ることができました。この売上金は社会福祉協議会に寄付を行い、福祉会活動の貴重な財源として使ってまいります。

最後に「もったいない掘り出し市」開催にご協力いただきました、各区区長・福祉委員の皆さんに改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

池田町福祉委員会



中学生ボランティア

このイベントは、様々なボランティア団体・関係団体、中学生ボランティアの皆さんなど、多くの方のご協力により、無事に終えることができました。ご協力を賜りました皆さんへ感謝申し上げます。

第19回 池田町社会福祉大会

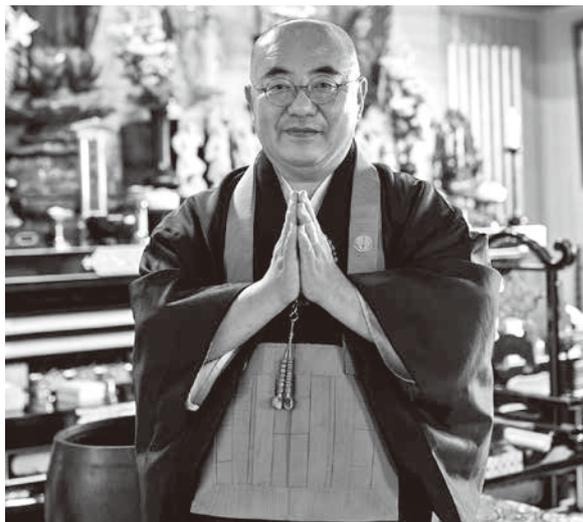
日時 令和7年2月12日(水)
午後1時30分～4時

場所 池田町福祉センター ホール

日程 午後1時～1時30分 受付
午後1時30分～2時15分 式典
午後2時25分～4時 記念講演

演題 「これからの人生の
よりよく生きるための終活」

講師 大法寺 住職 **長谷雄蓮華** 氏



講師プロフィール

昭和47年生まれ
愛西市 大法寺住職(平成9年より)
一般社団法人 かけこみ寺 代表理事
「ラジ和尚」として、ラジオテレビなどメディアで僧侶、
お寺の在り方や質問に答えている。
CBCラジオ 毎週月曜日 午後7時～
「ラジ和尚長谷雄蓮華のちょっとかけこまナイト」
文化放送、ラジオ沖縄、山陰放送、大分放送、FM一宮、
FMななみ、いなべFM、ハートFMで、番組を担当

申し込み方法

事前申し込み
下記までご連絡ください

☎ 45-8123

手話通訳
あり

池田シニアクラブ

飛水クラブぎふグラウンド・ゴルフ大会 優勝のご報告

10月25日(金)に岐阜メモリアルセンター《長良川球技場、
補助競技場》にて令和6年度 飛水クラブぎふ(岐阜県老人
クラブ連合会)グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。

岐阜県内29市町村の老人クラブから226名の参加がありま
した。

その中、見事 **池田シニアクラブ** が **優勝** しました。



善意のご寄付

ありがとうございました

◎社会福祉事業へ

- お米 30kg ……匿名者様
- お米 30kg ……匿名者様
- 肌着・靴下など ……匿名者様
- 187,150円
……池田町福祉委員会様
(もったいない掘り出し市売り上げ)



(池田町福祉委員会様)

○50,000円…いび川農業協同組合様



(いび川農業協同組合様)



池田ふれあいサポートセンター



放課後等デイサービス とらいあんぐる

明けましておめでとうございます。

昨年は、子供たちと一緒にランチ作りやお菓子作り、ゲームをしたり時にはお出掛けしたり…と楽しい思い出が一杯な1年となりました。今年とはらいあんぐるからも卒業し、新社会人としてスタートを迎える仲間もいます。さて、今年はどうなるのでしょうか？今から、子供たちの成長が楽しみでワクワクしています。私たち職員も微力ながら少しでも、子供たちの笑顔のために何か出来るように精一杯、頑張ります！どうぞ本年も宜しく願いいたします。



病児・病後児保育室 ひまわり



明けましておめでとうございます。



新しい一年が始まりました！本年も職員一同、病児・病後児保育室での保育や看護の知識を増やしながら皆さんに安心してご利用いただける場所を目指し頑張っていきたいと思っております☆よろしく願いいたします。

お子さんの体調不良…家庭での看護が困難などときには病児・病後児保育室の利用をぜひご検討ください！

症状は落ち着いたけど、集団生活に戻るにはまだ不安…といった場合にもご利用いただけます。

専属の保育士と看護師が回復に向け保育と看護を行います。



いざという時の為に、登録だけでも済ませておきませんか？

登録をご希望の方はお電話で予約をお願いいたします。



申し込み・問い合わせ

池田ふれあいサポートセンター ☎45・3916

昨年も多くのお客様の皆さんに、大変お世話になりました。今年も1年宜しく願います。今年のゲスト「オカリナの会カノン」の皆さんの演奏と「嬉しがり屋ゆきじ&ちよわ」様の公演は、皆さんに大いに楽しんで頂けたようで嬉しく思います。その他にもピンゴゲームやボランティア団体の皆さんのバザー等にご来場いただきありがとうございました。多くのボランティア団体の皆さんにご協力頂き、和気あいあいと「げんき祭」を催す事が出来ました。本当に感謝しております。今後も地域の皆さんに支えて頂きながら、楽しく過ごせるふれ愛の家でありたいと思っています。



池田町障害福祉サービス事業所
fureai noie
ふれ愛の家

あけまして
おめでとうございます!!



問い合わせ 池田町障害福祉サービス事業所 ふれ愛の家 ☎44・1877

相手の立場を思いやり、 励まし合って仲間と共に生きる子の育成

養基小学校では、「人をいたわり、親切にする思いやりのある児童の育成」「明るく住みよい学校、町づくりのために進んでボランティア活動ができる児童の育成」を目指しています。
福祉活動の様子を紹介します。

JRC委員会の活動

JRC委員会では、アルミ缶回収・全校ボランティアなどの呼びかけをしています。アルミ缶回収では「今年も一か月に五百五十個集めることを目標にしよう」と話し合い、全校に呼びかけました。そして、「どうしたら、より多くの協力が得られるのか」をみんなで話し合い、回収したアルミ缶の個数を毎日の放送で紹介して協力を促しました。目標まで残りいくつかを伝えたり、西児童玄関で集まった数と東の児童玄関で集まった数を報告したりすることで意識が高まり、昨年度よりアルミ缶の数が増えています。回収したアルミ缶で得た収益金は、池田町と揖斐川町の社会福祉協議会に寄付します。

このような意識の向上が、本年度は『テープの巻芯を集めて、緑の地球を守るプロジェクト』に参加しようと巻芯回収にもひろがりしました。集めた巻芯は古紙回収業者に買い取ってもらい、段ボールに再生したり、マングロブの植林やメンテナンスに役立てたりされます。

他にも、委員会の児童らが揖斐川工業様からいただいた花の苗をプランターなどに植えたり、水やりをしたりしています。校舎前の庭に咲くベゴニアや日々草、

マリゴールド・パンジーなどの花の世話も行いました。冬には、ミニシクラメンを小さい植木鉢に移植して、各クラスに配ります。きれいな花いっぱい養基小学校にしていきたいです。



巻芯



組合立 福祉活動 養基小学校

～福祉協力校の活動紹介～

福祉活動(高齢者疑似体験・車いす体験)

六年生が「総合的な学習の時間」に、福祉について学んでいます。令和六年度も社会福祉協議会の出前講座、「高齢者疑似体験・車いす体験」を受講しました。社会福祉協議会の職員の方を講師に招き、児童は、おもりなどを装着して二つの体験をしたことで、自分の祖父母や高齢者の困り感に気付くことができました。お年寄りの方の立場や気持ちを考え、気付いた困り感に対して、積極的に声をかけていきたいという感想をもった児童が多かったです。

このほかに

も、「西美濃 さくら苑」や「まごころ弁当 作り」の見学もしました。



高齢者疑似体験



車いす体験

他にも……

運動会前には、朝の涼しい時間に各学年の受け持ち範囲を決め、草取りや石拾いの『全校ボランティア』を行いました。また、ボランティアカードを一人一人が持ち、自分のできることを見つけ、ボランティア活動を行っています。カードのスタンプがいっぱいになると校長先生に報告をします。校長先生から直接認めってもらえることが、子どもたちの次へのエネルギーになっています。

『地域とつながる活動』として、1年生から6年生までの児童が、一人暮らしのお年寄りへの食事サービス『まごころ弁当』に添える手紙を書いています。こうした活動を通して、他者の気持ちや思いの理解を深め、思いやりのある子、友達のよさを認め、励まし合う子に育ってほしいと願っています。